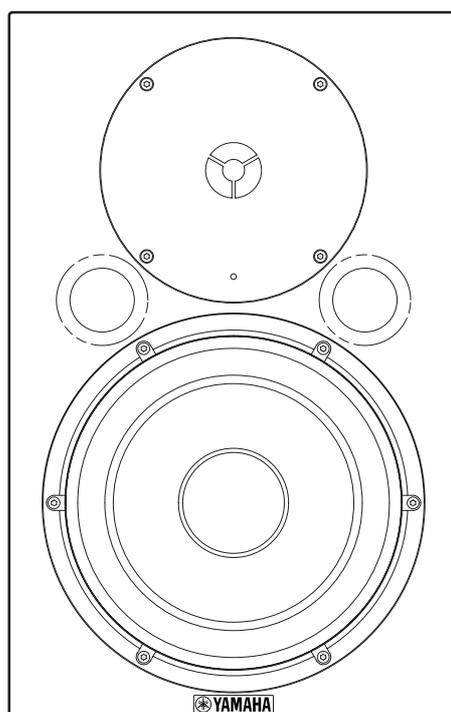




POWERED MONITOR SPEAKER

MSP10STUDIO

取扱説明書



このたびは、ヤマハパワーモニター・スピーカーMSP10STUDIOをお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。MSP10STUDIOは、バスレフ式キャビネットに2ウェイ20cmコーンスピーカー、2.5cmチタンドームスピーカーを採用し、その忠実な再現性はホームレコーディング等パーソナルユースから本格的プロユースまで幅広くお使いいただけるバイアンプ方式パワースピーカーです。MSP10STUDIOの優れた機能を十分に発揮させるとともに、末永くご愛用いただくために、この取扱説明書をご使用の前に必ずお読みください。お読みになったあとは保証書とともに保管してください。

！安全上のご注意 —安全にお使いいただくため—

安全にお使いいただくため、ご使用前にこの「安全上のご注意」をよくお読みください。またお読みになったあと、いつでも見られるところに必ず保管してください。

絵表示 この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

絵表示の例

-  : 注意(危険・警告を含む)を促す事項
-  : 決しておこなってはいけない禁止事項
-  : 必ずおこなっていただく強制事項

警告 この欄に記載されている事項を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があります。

| 設置されるとき | |
|--|--|
|  <ul style="list-style-type: none"> ● この機器はAC100V専用です。それ以外の電源(AC200V、船舶の直流電源など)では使用しないでください。火災・感電の原因となります。 ● この機器に水が入ったり、機器がぬれたりしないようご注意ください。火災・感電の原因となります。雨天・降雪時や海岸・水辺での使用は特にご注意ください。 ● 電源コードの上に重い物をのせないでください。コードに傷が付くと、火災・感電の原因となります。とくに、敷物などで覆われたコードに気付かず重い物を載せたり、コードが本機の下敷きになることは、起こりがちなことですので、十分にご注意ください。 ● この機器の上に水などの入った容器や小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入ったりすると、火災・感電の原因となります。花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬品なども同様です。 |  <ul style="list-style-type: none"> ● 雷が鳴りだしたら、早めに機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。 <p>プラグをコンセントから抜け</p>  <ul style="list-style-type: none"> ● 落雷のおそれがあるとき、電源プラグが接続されたままならば、電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。 <p>接触禁止</p>  <ul style="list-style-type: none"> ● この機器を改造しないでください。火災・感電の原因となります。 ● この機器のカバーは絶対に外さないでください。感電の原因になります。内部の点検・整備・修理が必要と思われるときは、お買上げ販売店にご依頼ください。 <p>分解禁止</p> |
| 使用中に異常が発生したとき | |
|  <ul style="list-style-type: none"> ● この機器は電源スイッチを切った状態でも完全に主電源が遮断されていませんので機器を電源コンセントの近くに設置し、電源プラグへ容易に手が届くようにしてください。 |  <ul style="list-style-type: none"> ● 断線・芯線の露出など、電源コードが傷んだら、お買上げ販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。  <ul style="list-style-type: none"> ● 煙が出る、変なにおいや音がするなどの異常がみとめられたときや、内部に水などの異物が入った場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。そのあと、販売店にご連絡ください。異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。  <p>プラグをコンセントから抜け</p> |
| ご使用になるとき | |
|  <ul style="list-style-type: none"> ● 電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して、火災・感電の原因になります。 |  <ul style="list-style-type: none"> ● 万一、この機器を落としたり、キャビネットを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。 <p>プラグをコンセントから抜け</p> |

⚠️ 注意

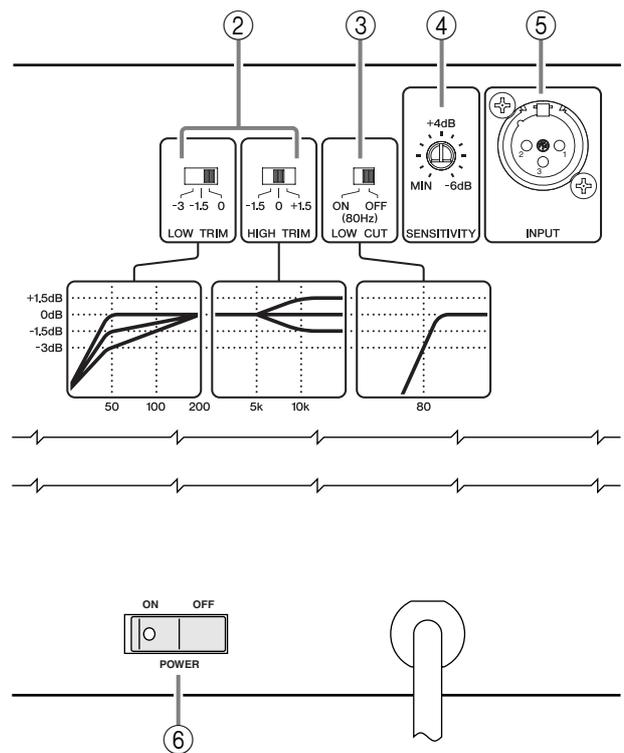
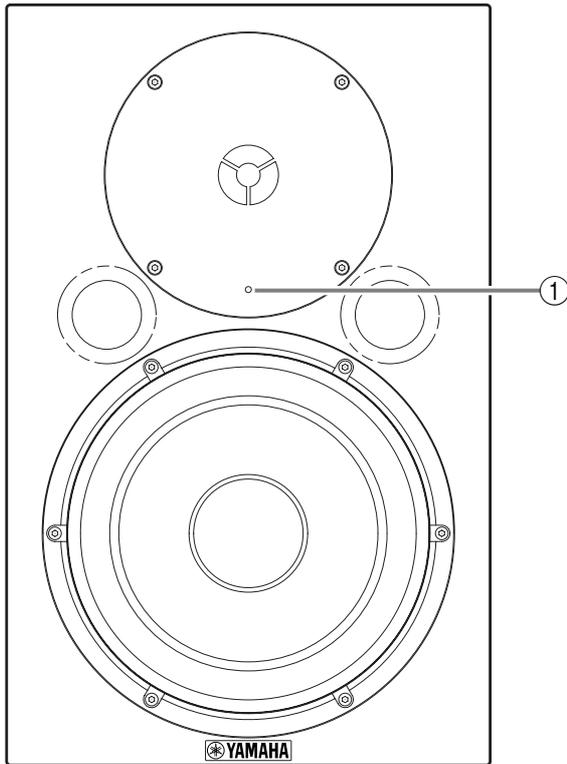
この欄に記載されている事項を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害が発生したりする可能性があります。

| 設置されるとき | |
|--|--|
|  <ul style="list-style-type: none"> ● 火災・感電やけがなどを避けるため、次のような場所には置かないでください。 <ul style="list-style-type: none"> ・調理台や加湿器のそばなど、油煙や湯気が当たるような場所。 ・ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所。 ・窓を締め切った自動車の中や直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所。 ・湿気やほこりの多い場所。 ● 電源コードを熱器具に近付けないでください。コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因になることがあります。 ● 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードを引っ張ると、電源コードが傷ついて、火災・感電の原因となることがあります。 ● 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。 ● この機器の通風孔をふさがないでください。内部の温度上昇を防ぐため、この機器の後部には通風孔があげてあります。通風孔がふさがると内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。とくに次のような使い方は避けてください。 <ul style="list-style-type: none"> ・機器をおお向けや横倒し、逆さまにする。 ・本箱や押し入れなど、専用ラック以外の風通しの悪い狭いところに押し込める。 ・テーブルクロスを掛けたり、じゅうたんや布団の上に置いて使用する。 |  <ul style="list-style-type: none"> ● この機器は重いので、持ち運びは必ず2人以上で行ってください。 ● 放熱をよくするために、壁や他の機器との間に隙間をとってください。隙間の大きさは、側面では10cm、背面では30cm、天面では60cm以上必要です。放熱が不十分だと機器内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。 |
| ご使用になるとき | |
|  <ul style="list-style-type: none"> ● オーディオなどの機器を接続する場合は、接続するすべての機器の電源を切ってください。それぞれの機器の取扱説明書に従い、指定のコードを使用して接続してください。 ● 電源を入れる前に音量(ボリューム)を最小にしてください。突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。 |  <ul style="list-style-type: none"> ● 音が歪んだ状態で、長い時間、使わないでください。スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。 ● スピーカーを、不快を感じるほどの大音量では使用しないでください。大きな音を長い時間または習慣的に聴くと、聴覚障害の原因になります。 |
|  <ul style="list-style-type: none"> ● 機器を移動する場合は、電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続コードなど外部の接続コードを外してください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。 |  <ul style="list-style-type: none"> ● 旅行などで、長期間この機器をご使用にならないときは、安全のため、必ず電源プラグをコンセントからぬいてください。火災の原因となることがあります。 |
| お手入れについて | |
|  <ul style="list-style-type: none"> ● お手入れの際は、安全のため、電源プラグをコンセントからぬいてください。感電の原因となることがあります。 |  <ul style="list-style-type: none"> ● お手入れの際は、安全のため、電源プラグをコンセントからぬいてください。感電の原因となることがあります。 |

！ 使用上のご注意 —正しくお使いいただくため—

| コネクタの極性について | ご使用になるとき |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ◆ XLRタイプコネクタのピン配列は次のとおりです。1：シールド(GND)、2：ホット(+)、3：コールド(-) これは、IEC60268規格に基づいています。 | <ul style="list-style-type: none"> ◆ このスピーカーは防磁型ですが、近くのディスプレイに色ムラを生じたときは、少し離してください。 ◆ この機器は、ポートからの空気の出入りによる風を感じることもあるかもしれませんが、異常ではありません。とくに低音成分の多いプログラムを再生すると、そのような事が起こり得ます。 |
| 携帯電話からの影響について | |
| <ul style="list-style-type: none"> ◆ この機器のすぐ近くで携帯電話を使用すると、本機にノイズが入ることがあります。そのようなときは、少し離れた場所で携帯電話をご使用ください。 | |

フロントパネル、リアパネル



① **パワーインジケータ／クリップインジケータ**
 リアパネルのPOWERスイッチをオンにすると緑色に点灯します。出力レベルが高すぎてアンプにクリッピングが生じたときは赤色に変わります。そのときは、入力レベルを下げてください。

② TRIM スイッチ

MSP10STUDIO の低音域、高音域を補正するスイッチです。

LOW : 3 ポジション

低音域を補正します。

ポジション0で50Hzの値を基準として、-1.5にすると1.5dB下がり、-3にすると3dB下がります。

HIGH : 3 ポジション

高音域を補正します。

ポジション0で10kHzの値を基準として、+1.5にすると1.5dB上がり、-1.5にすると1.5dB下がります。

③ LOW CUT スイッチ

80Hz以下の周波数をカットするハイパスフィルターのオン／オフスイッチです。

④ SENSITIVITY (センシティブリティ) コントロール

接続する機器の出力感度に合わせてください。(出荷時はMINにセットされています。)

⑤ INPUT 端子

バランス型の入力用XLRタイプコネクタです。

⑥ POWER スイッチ

MSP10STUDIO の電源をオン、オフするスイッチです。オンにすると、パワーインジケータが緑色に点灯します。

仕様

●総合仕様

| | |
|---------------|---|
| 形式 | バイ・アンプ 2ウェイ バスレフ型 パワード・スピーカー |
| クロスオーバー周波数 | 2.0kHz 30dB/oct |
| 再生周波数帯域 | 40Hz~40kHz(-10dB) |
| 感度 | -10dB at -6dB position (for 100dB/SPL 軸上1m) |
| 最大出力音圧レベル | 110dB(軸上1m) |
| 最大外形寸法(W×H×D) | 265×420×329mm |
| 重量 | 20kg |

●スピーカー部

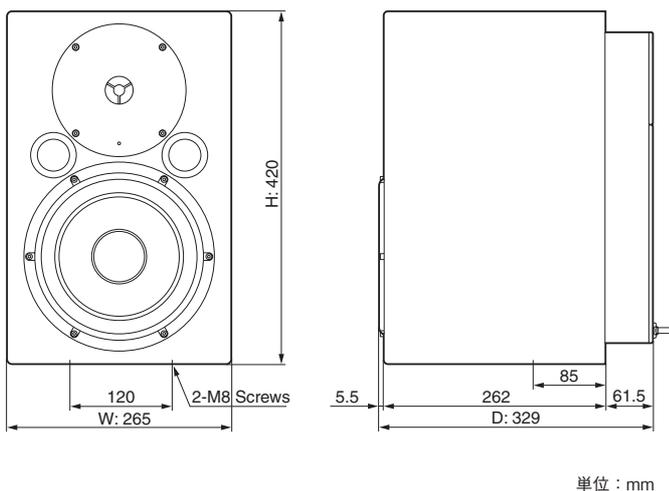
| | |
|-----------|---|
| スピーカーユニット | LF:20cmコーン(4Ω、防磁型)、HF:2.5cmチタンドーム(8Ω、防磁型) |
| エンクロージャー | 方式:バスレフ型 |

●アンプ部

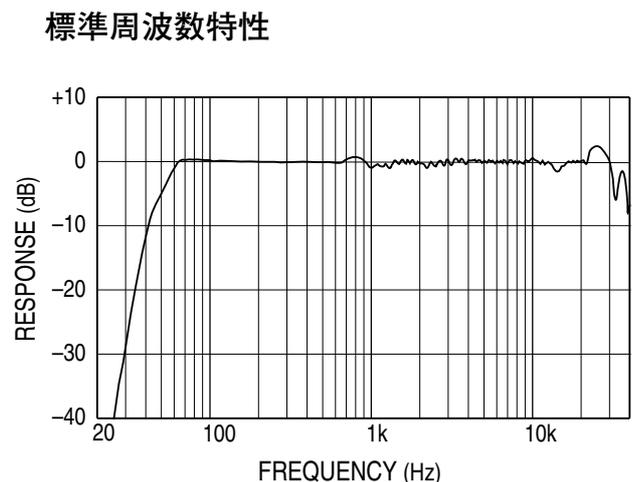
| | |
|--------------|---|
| 定格最大出力 | LF:120W at 400Hz, THD=0.02%, RL=4Ω HF:60W at 10kHz, THD=0.02%, RL=8Ω |
| 入力感度/インピーダンス | -6~+4dB/10kΩ |
| ハム&ノイズ | ≤-67dB (Volume=Min) DIN Audio filter |
| S/N | ≥98dB (IEC-A Weighting) |
| コントロール | TRIMスイッチ LOW: 3ポジション(0dB, -1.5dB, -3dB at 50Hz) HIGH: 3ポジション(+1.5dB, 0dB, -1.5dB at 10kHz) LOW CUTスイッチ: ON/OFF SENSITIVITYコントロール POWERスイッチ: ON/OFF |
| コネクター | Input (XLR-3-31) |
| パワーインジケータ | ／ |
| クリップインジケータ | 緑/赤2色発光LED |
| 電源 | AC100V、50/60Hz |
| 消費電力 | 140W |
| オプション | ウォールブラケット BWS251-300 |

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。
高調波ガイドライン適合品

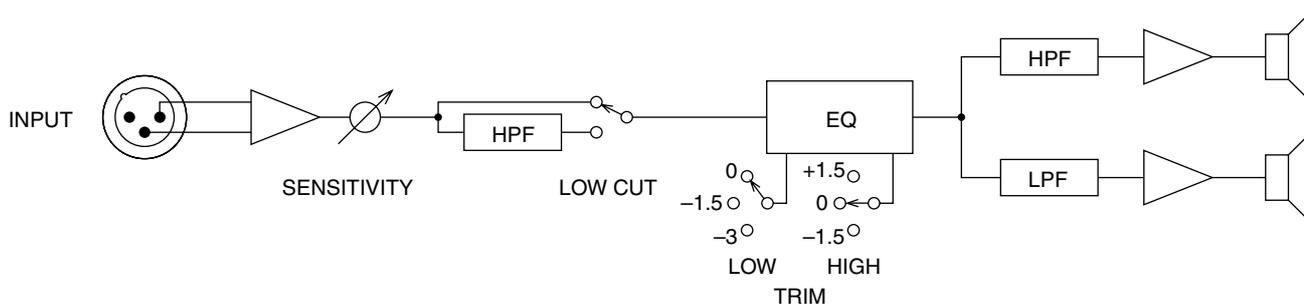
寸法図



特性図



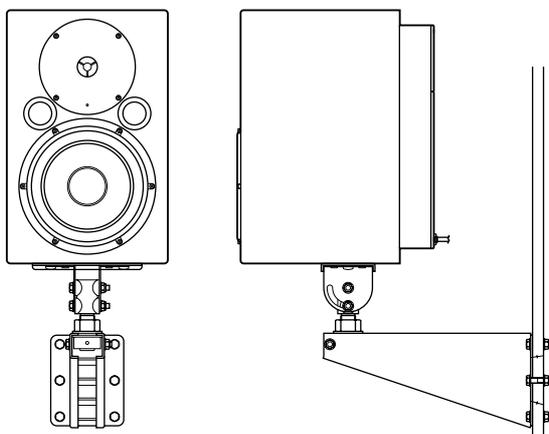
ブロックダイアグラム



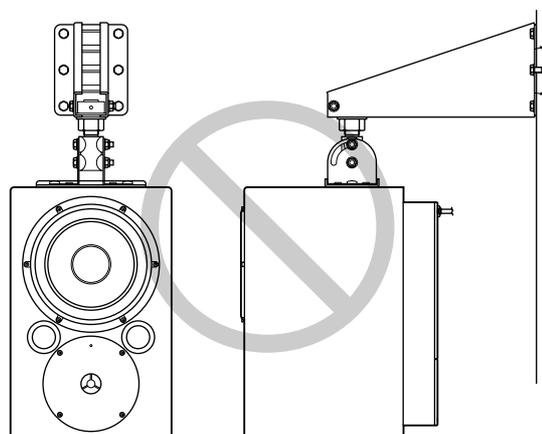
壁面取付けの注意

MSP10STUDIOは別売のヤマハウォールブラケットBWS251-300を使って壁面に取付けられます。取付け方法はウォールブラケットの説明書を、取付け方向は下図を、それぞれ参照してください。取付ける壁の強度は、厚さ 18mm 以上の合板相当が必要です。適切な取付け工具をご使用ください。

正しい取付け



誤った取付け



- ・ 設置に際しては、専門家のご指導により実施してください。
- ・ ご使用中における磨耗や腐食等により、部品が劣化する場合があります。安全にご使用いただくため、定期的な保守点検を実施してください。

サービスについて

■保証書

この商品には保証書がついています。販売店でお渡していますから、ご住所・お名前・お買上げ年月日・販売店名など所定事項の記入および記載内容をおたしかめの上、大切に保管してください。

保証書は当社がお客様に保証期間内の無償サービスをお約束するもので、この商品の保証期間はお買上げ日より1年です。

保証期間内の転居や、ご贈答用に購入された場合などで、記載事項の変更が必要なときは、事前・事後を問わずお買上げ販売店かお客様ご相談窓口、またはヤマハ電気音響製品サービス拠点へご連絡ください。継続してサービスできるように手配いたします。

■損害に対する責任

この商品(搭載プログラムを含む)の使用または使用不能により、お客様に生じた損害(事業利益の損失、事業の中断、事業情報の損失、その他の特別損失や逸失利益)については、当社は一切その責任を負わないものとします。また、如何なる場合でも、当社が負担する損害賠償額は、お客様がお支払になったこの商品の代価相当額をもって、その上限とします。

■調整・故障の修理

「故障かな?」と思われる症状のときは、この説明書をもう一度よくお読みになり、電源・接続・操作などをおたしかめください。それでもなお改善されないときには、お買上げ販売店へご連絡ください。調整・修理いたします。

調整・修理に際しては保証書をご用意ください。保証規定により、調整・修理サービスをいたします。また、故障した製品をお持ちいただくか、サービスにお伺いするのも保証書に書かれています。

修理サービスは保証期間が過ぎた後も引き続きおこなわれ、そのための補修用性能部品が用意されています。性能部品とは製品の機能を維持するために不可欠な部品のことをいい、PA製品ではその最低保有期間は製造切後8年です。この期間は経済産業省の指導によるものです。

■お客様ご相談窓口

ヤマハPA製品に関するご質問・ご相談は下記のお客様ご相談窓口へ、アフターサービスについてのお問い合わせはヤマハ電気音響製品サービス拠点へお寄せください。

●お客様ご相談窓口：ヤマハプロオーディオ製品に対するお問合せ窓口

ヤマハ・プロオーディオ・インフォメーションセンター

Tel: 03-5791-7678 Fax: 03-5488-6663 (電話受付=祝祭日を除く月～金/11:00～19:00)

E-mail: painfo@post.yamaha.co.jp

●営業窓口

EM営業統括部企画推進室(プロオーディオ) ☎ 03-5488-5472 〒108-8568 東京都港区高輪2-17-11

PA・DMI事業部PE営業部CA営業課 ☎ 053-460-2455 〒430-8650 浜松市中沢町10-1

●ヤマハ電気音響製品サービス拠点：修理受付および修理品お預かり窓口

| | | | |
|---------------|----------------|-----------|------------------------------------|
| 北海道サービスステーション | ☎ 011-512-6108 | 〒064-8543 | 札幌市中央区南十条西1-1-50 ヤマハセンター内 |
| 仙台サービスステーション | ☎ 022-236-0249 | 〒984-0015 | 仙台市若林区卸町5-7 仙台卸商共同配送センター 3F |
| 首都圏サービスセンター | ☎ 03-5762-2121 | 〒143-0006 | 東京都大田区平和島2-1-1 京浜トラックターミナル14号棟A-5F |
| 浜松サービスステーション | ☎ 053-465-6711 | 〒435-0016 | 浜松市和田町200 ヤマハ(株)和田工場6号館2階 |
| 名古屋サービスセンター | ☎ 052-652-2230 | 〒454-0058 | 名古屋市中川区玉川町2-1-2 ヤマハ(株)名古屋流通センター3F |
| 大阪サービスセンター | ☎ 06-6877-5262 | 〒565-0803 | 吹田市新芦屋下1-16 ヤマハ(株)千里丘センター内 |
| 四国サービスステーション | ☎ 087-822-3045 | 〒760-0029 | 高松市丸亀町8-7 (株)ヤマハミュージック神戸 高松店内 |
| 九州サービスステーション | ☎ 092-472-2134 | 〒812-8508 | 福岡市博多区博多駅前2-11-4 |
| 本社/CSセンター | ☎ 053-465-1158 | 〒435-0016 | 浜松市和田町200 ヤマハ(株)和田工場6号館2階 |

※ 所在地・電話番号などは変更されることがあります。

※ 2002年6月現在



ヤマハマニュアルライブラリー
<http://www2.yamaha.co.jp/manual/japan/>

M.D.G., Pro Audio & Digital Musical Instrument Division, Yamaha Corporation
© 2002 Yamaha Corporation

V879520 207IPEPx.x-01A0
Printed in Taiwan